

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
総合臨床実習Ⅱ	前期	4年	必修	8単位	360h
担当教員名	メールアドレス	オフィスアワー			
科目主担当： <u>遠藤悠介</u> 実習委員：吉松竜貴，作山晃裕 補助：高杉潤，宇都宮雅博，大竹祐子， 河辺信秀，平野康之，河江敏広，小泉圭 介，中村睦美，鬼塚勝哉，杉山聡	yusuke.endo@tohto.ac.jp	メール、teams で随時			
授業の概要					
5月第4週～7第3週までの8週間、医療機関に出向いて、現職の理学療法士（臨床実習指導者）に付き従い、実際の患者に対する診療（リハビリテーション）の一部に参加しながら、医療職者にふさわしい態度や礼節、実際の患者に対する治療行為を含む理学療法評価全般について体験を通して学ぶ。なお、実習オリエンテーション、OSCE および実習終了後の実習報告も本科目に含まれる。					
キーワード	到達目標				
診療参加型臨床実習 リスク管理（応用） 理学療法評価 ゴール設定・プログラム立案 理学療法プログラム（治療）実践 効果検証・プログラム修正	① 医療従事者としてふさわしい礼節、態度、コミュニケーション能力を獲得する（不備の指摘を受け入れ即座に改善できる）。 ② 学内で学習した人体に関する知識やリハビリテーション対象疾患の病態に関する知識に関する理解を深める。 ③ 理学療法評価を実践し、ゴール設定、プログラム立案に関する自分なりの意見を表出できる。 ④ 臨床実習指導者と共働であれば、リスクに配慮した理学療法プログラムを実践し、その効果を検証しプログラムを修正するなどの、理学療法業務の全般に参加することができる。				
学習内容					
理学療法評価のみならず、疾患別のリスクに配慮した理学療法プログラムの実践（いわゆる治療）にも積極的に参加し、理学療法全般に関する経験をできるだけ多く積むことを目指す。特に、業務を遂行するための「技能」を高めることに重きが置かれるため、臨床実習指導者に対し積極的に自身の意見・考えを表出することが求められる。					
受講要件					
① 3年前期終了までに開講される必修の専門科目および専門基礎科目の全ての単位を修得していること。 ② 3年次後期に開講される『総合臨床実習Ⅰ』の単位を修得していること。					
評価					
レポート	その他			合計	
0%	実習への参加状況とその内容 70% 実習開始前 OSCE 30%			100%	
教員からのメッセージ					
本実習は、これまでに本学で経験した全ての学習を総動員して臨むべきものです。これまでの学習について十分に振り返るなど、しっかりと事前の準備を行って臨床実習に臨んでください。					